

5月8日の機構報告を受けた国交省の対応状況

参考資料2
(第1回 北海道新幹線札幌延伸推進会議資料)

大臣指示 (5月8日)

全体工程の精査・今後見通しの検討

- 本事業について地元関係者等の大きな期待があるところであり、それを踏まえて、**その報告内容が合理的であるのか**、講じることができる方策がないか、**有識者の知見も頂きつつ**、様々な角度・観点から検討を行い、改めて**全体工程の精査を行うこと**。
- 開業目標に関する今後の見通し**についての検討作業を早急に開始する必要があるため、**鉄道・運輸機構においても、その検討作業にしっかり対応すること**。

工程短縮策の検討

- その際、地質不良等の現場における最新の技術・ノウハウなど実務面での英知を横断的に集結するとともに、人材や資機材の確保など幅広く関係者の協力を得るなどして、**工程遅延を短縮するための様々な検討を行い、一日も早い完成・開業を目指すこと**。

関係者への説明

- 地元自治体等の**関係者に丁寧な説明を行うこと**。

対応状況

○「北海道新幹線（函・札）の整備に関する有識者会議」

<開催実績等> 5月10日(第6回)、5月27日(現地視察)、6月5日(第7回)、7月24日(第8回)

<委員>

森地 茂 政策研究大学院大学 名誉教授【座長】
小澤 一雅 政策研究大学院大学 教授
野澤 伸一郎 JR東日本コンサルタンツ 常務取締役 技術本部長
岸 邦宏 北海道大学大学院工学研究院 教授
三上 隆 旭川市立大学・旭川市立大学短期大学部 学長

<オブザーバー> 今井 政人 JR北海道 取締役副社長

○「地質不良対策等検討ワーキングチーム（WT）」

<開催実績等> 5月9日(第1回)、6月3日(第2回)、6月25,26日(現地視察)、6月26日(第3,4回)、7月16日(第5回)

<メンバー> 国土交通省鉄道局・北海道開発局／土木研究所 寒地土木研究所／大手ゼネコン四社／トンネル技術協会／鉄道・運輸機構 等

- 様々な機会に随時実施（例：北海道新幹線札幌延伸推進会議）

【有識者会議における議論の状況】

○これまでの議論（議論中のものを含む）

- ✓ 工事の進捗状況の確認
- ✓ 遅延要因の分析、これまでの工程短縮策の評価
- ✓ 今後の工程短縮策（WTからの報告含む）、リスクの評価
- ✓ トンネル調査の状況、トンネル掘削工程の考え方 等

○今後の議論（左記以外のもの）

- ✓ 土木、軌道、電気等の各工事や監査・検査を含む全体工程の見通し
- ✓ 完成・開業目標設定の考え方 等